

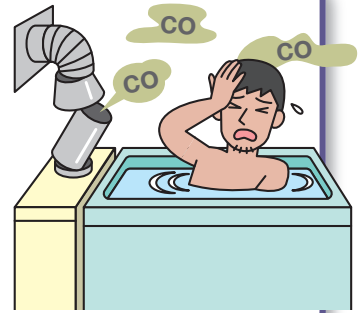
入浴中に気分が悪い、頭が痛い こんな経験はありませんか？



それは、^(一酸化炭素)**CO中毒**であった可能性があります。

換気(給気と排気)が不十分で新鮮な空気が不足したままお風呂(風呂がまや給湯器)を使用していると、不完全燃焼が起こりCOが発生し、CO中毒事故につながります。

- ◎気分が悪い、頭が痛い等、CO中毒の軽い症状は登山の疲れなど見分けにくく、見逃される危険性があります。
- ◎山小屋は風呂がま等の設置場所が狭く窓もない等、密閉空間となりやすいため、CO中毒事故が発生する危険性が非常に高くなっています。



CO中毒の発生を防ぐには、ガス機器を 正しく設置し、正しく使う必要があります。

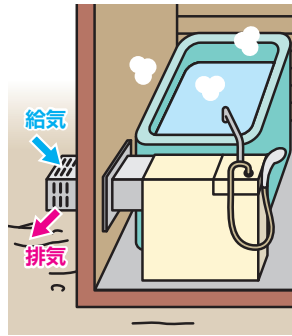
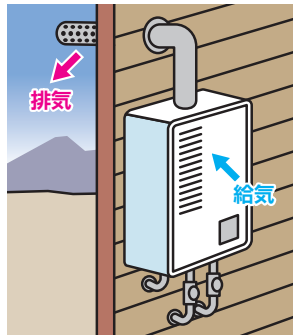
タイプの確認

風呂がま等が「屋内用」か「屋外用」かを調べ、正しく設置されているか確認しましょう。

屋外用のガス機器が屋内に設置されていた場合には、屋外に移すか屋内用の機器に取り替える等の改善を行きましょう。

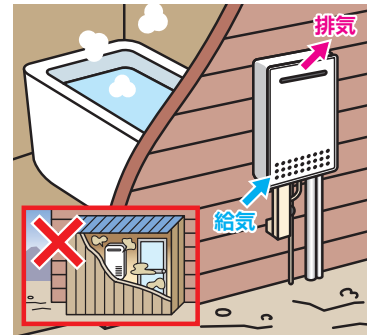
屋内用

- 給気は室内から、排気は排気筒を通して屋外へ行くもの。
- 給気と排気を給排気ダクトで行うもの。



屋外用

- 給気と排気を屋外で行うもの。
- ⊘ 屋外用は、小屋囲いや屋内設置は絶対にしてはいけません。

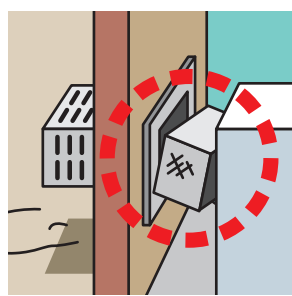
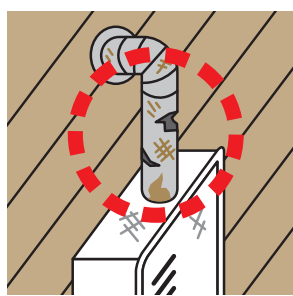


排気筒の確認

風呂がま等が屋内用であった場合には、排気筒が付いているか、付いていても壊れていないか確認しましょう。

排気筒が取り付けられていない場合には、正しく付けましょう。また、排気筒が壊れていたり外れている時は修理しましょう。

排気筒の劣化、外れ



給排気口の塞ぎ



ガス機器の取り替え等はLPガス販売店へ連絡を

風呂がま、排気筒、配管などの設置や変更は、液化石油ガス設備士の資格が必要です。改良工事に関する不明な点は、LPガス販売店に相談してください。



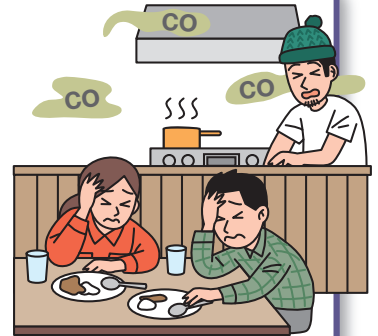
調理中に気分が悪い、頭が痛い こんな経験はありませんか？



それは、^(一酸化炭素)**CO中毒**であった可能性があります。

換気扇を回さず、また給気口が塞がれたまま等、新鮮な空気を取り込まずにガス機器を使い続けると不完全燃焼が起こりCOが発生し、CO中毒事故につながります。

- ◎気分が悪い、頭が痛い等、CO中毒の軽い症状は登山の疲れ等と見分けにくく、見逃される危険性があります。
- ◎山小屋の調理室はスペースも狭くかつ密閉空間となりやすく、CO中毒事故が発生する危険性が非常に高くなっています。
- ◎とくに、山小屋は調理室と客室・食堂が近接している構造が多く、**お客様を巻き込む**可能性があります。



CO中毒の発生を防ぐには、**給気と排気**の設備を正しく設置し、**換気**に関する安全確認の徹底が必要です。

給排気の確認

給気口及び換気扇(排気口等)があるか確認しましょう。

給気口が箱等で塞がれている場合には、それを取り除くと共に、障害物を置かないように周知し、実行しましょう。

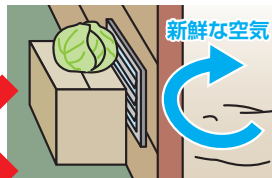
換気扇の確認

換気扇のコンセントが外れていないか、正常に作動しているか確認しましょう。

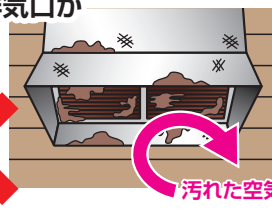
ガス機器を使用するときは、必ず換気扇のスイッチを入れるように周知し、実行しましょう。

また、窓がある場合は、ときどき窓を開け換気しましょう。

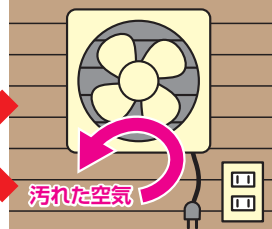
給気口をふさいでガス機器を使用



油污れやほこりで排気口がふさがれた状態でガス機器を使用

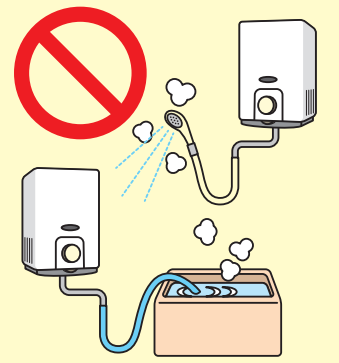


コンセントが抜けたままでガス機器を使用



こんな使い方は絶対禁止!

小型湯沸器からのホースの延長やシャワー接続による長時間使用は不完全燃焼の原因となり大変危険です。



CO中毒を未然に防ぐ安全器具のおすすめ

不完全燃焼によって発生したCOを検知すると、ランプや音声で知らせるCO警報器(家庭用)または業務用換気警報器(業務用)の設置をおすすめします。



CO警報器の例

●緊急時連絡先

●LPガス販売店